



# 博多あん通信

第1号 2007年8月31日 発行  
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会  
〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46  
市立青年センター5F  
福岡市NPOボランティア交流センターBOX52番

## 博多あん・あんリーダー会2年目スタート

「博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会」の平成19年度総会が、4月14日(土)、福岡市中央区の「よみうりプラザホール」にて開催され、会員54人が出席した。平成19年度の事業計画案などが確認されるとともに新役員が選出され、2年目のスタートを切った。



新しいユニフォームで「よみうり防災セミナー」

平成18年度事業経過報告では、H19年1月から「よみうり防災セミナー」がスタートしたこと、福岡市主催の各事業に参画したことなどが報告され、拍手で承認された。

平成19年度事業計画(案)では、市の主催イベントに参加するのではなく、本会が主催すべきではないかの積極的な意見も出たが、事務局案が全会一致で可決された。つづく、平成19年度予算(案)、会則の改定(案)についても全会一致で可決された。

最後に、平成19年度役員16人と顧問をお願いする方3名が承認された。

### 博多あん・あんリーダー会 代表幹事あいさつ

会員の皆様方には日頃より、当会運営に格段のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成18年4月に創立した当会も2年目がスタートしました。会員数は今春2期生を迎え、151人になります。

さて、かつては、安全神話の高かった福岡も、平成15年7月御笠川氾濫、同17年3月福岡県西方沖地震と、思いもしない大災害を経験し、当地も災害と無縁とは言えなくなりました。自然災害を100%避ける事は不可能ですが、日頃から災害への備え、知識、訓練(シミュレーション他)があれば減災する事は可能です。

一人では限界のある防災活動もあん・あんリーダーである私達は、在住地区での活動或いは「よみうり防災セミナー」等の実践を通して減災に向けたスキルアップを図って行く事が肝要と考えています。

当会は、今年も、創立の柱である「自助」「共助」の原則のもと、会員同志のネットワークを強化し、福岡市と緊密に連携を図りながら活動を展開し、地域社会に向けて貢献して参りたいと考えています。

どうかご協力の程、心よりお願い申し上げます。



池田代表幹事



鹿毛代表幹事

### 平成19年度事業計画(案)要約

1. 防災ボランティア組織「博多あん・あんリーダー会」の組織強化とさらなる活性化に努めます。
2. 本会会員としての知識、技能の向上に役立つ研修を行います。
  - (1) 年2回程度のスキルアップ研修
  - (2) DIGファシリテーターの育成
3. 福岡市との連携を一層推進し、「博多あん・あんリーダー会」第3期生の誕生に協力します。
  - (1) 第3期「博多あん・あん塾」の運営支援と講師派遣
4. よみうり防災セミナーの推進。
 

月1回程度の出前講座を継続推進します。また、地域の方々のニーズに応えるためのメニュー開発、技量向上を目指します。
5. 広報活動の推進。
 

会員向け広報の方法・体制について具体的推進を図ります。
6. その他
  - (1) 当会組織のあり方を研究します。
  - (2) 福岡市主催の防災関係行事へ協力、参加します。

### 平成19年度 博多あん・あんリーダー会役員

幹事(代表)	池田 昭 (南区)	幹事	松嶋 慧一 (東区)
幹事(代表)	鹿毛 勝昭 (早良区)	幹事	仲谷シゲ子 (南区)
幹事(事務局長)	松本 淳也 (南区)	幹事	竹下 裕一 (早良区)
幹事(事務局次長)	吉田 浩 (中央区)	幹事	有吉 誠治 (城南区)
幹事	岩佐 明美 (春日市)	監査	福山 誠 (博多区)
幹事	竹尾 宗二 (西区)	監査	宮本 雅信 (早良区)
幹事	吉垣奈美代 (博多区)	参与	藤末 金矢 (北九州)
幹事	河上 勝幸 (南区)	相談役	石井 孝 (西区)

顧問	泉 正彦	中央区役所総務課長
顧問	星子 明夫	福岡市防災危機管理課長
顧問	淵上 章	スポーツ報知西部本社

## ■平成19年度の活動スケジュール

活動内容・担当部会	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<事務局> 幹事会(原則月1回)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
<企画部> あんあんリーダー会のあり方検討 3期生入会勧誘 08年以降の組織検討						◎						
<研修部> 3期あんあん塾支援(受付他) 3期あんあん塾DIGファシリテータ支援 会員向け研修(クロスロード研修他)	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
<内外交流部> 3期塾生との交流懇談会 防災イベント(福岡市7.19、3.20) 会員交流懇談会			◎	▲				◎				▲
<広報部> 会員向け広報のあり方検討 会員向け広報誌発行		◎					①					②
<会計> 入会・継続確認文章発送 会員数確定 総会資料準備・会計監査	◎		◎	◎								◎

### 博多あん・あんリーダー会への期待

「博多あん・あんリーダー会」の皆様におかれましては、平素から「博多あん・あん塾」をはじめとして、本市が主催する各種防災関係の活動の運営等にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

「博多あん・あん塾」は、皆さんもご存知のとおり、平成17年度から本市と読売新聞西部本社との共催により、地域や企業の防災リーダーを育成することを目的として実施している事業であり、本年度で3年目を迎えたわけですが、昨年までの2年間で、192人が当講座を修了し、そのうち、188人が防災士の資格を取得するなど、大きな成果を挙げてきております。

本年度も、校区の自主防災組織の役員の方や企業の防災担当者など、約100の方が当講座を受講されているところですが、今回は、中学生とその母親、大学生の兄弟とその父親というように、家族での受講が見受けられるなど、3回目を迎え、受講者の形態も少しずつ変化してきております。

本市としては、今後とも引き続き、当講座を開講し、毎年100人程度、地域の防災リーダーとなる防災士の育成を行い、本市の地域防災力の向上に努めてまいりたいと考えております。

「博多あん・あんリーダー会」会員の皆さんにおかれましては、地域における防災リーダーとして、地域の自主防災組織等と連携し、防災意識の啓発と災害時に備えた安全対策に当たるほか、災害時の自助・共助による訓練などに計画段階から参加していただくなど、自らが持つ防災の知識と技術を効果的に発揮していただくことを期待いたしております。

福岡市市民局理事 岩下 實次

### 福岡市からのメッセージ

## 知識・技能を地域社会に還元

「よみうり防災セミナー」を立ち上げて半年が過ぎた。「博多あん・あん通信」を創刊するにあたり、事務局の藤末氏に、これまでの活動を振り返ってもらった。

「よみうり防災セミナー」は読売新聞西部本社と「博多あん・あんリーダー会」との共催でスタートしました。リーダー会員の知識・技能を地域社会に還元し、「地域の防災力」を向上させるのが目的でした。開催した各地区の反響はすこぶる良好で、「やって良かった」と安堵感にひたっているところです。

よみうり防災セミナー事務局 藤末金矢

#### 「第1回よみうり防災セミナーin・東住吉」(1月21日)

約80名が参加し、災害に対する心構えを中心に学びました。住民の反応に大きな手応えを感じました。

#### 「第2回よみうり防災セミナーin 愛宕浜」(2月25日)

リーダー会石井孝相談役の地元での開催は活況でした。参加者は81人でした。

#### シンポジウム「忘れんバイ、あの地震…福岡県西方沖地震から2年…いま福岡の地震は？」(3月24日)

「よみうり防災セミナー」を全市民的な活動として盛り上げるため、地震専門家らを招きシンポジウムを開催しました。警固断層を始めとした最新データをもとに福岡の地震を考え直す講義は好評でした。当日は日本防災士機構の古川貞二郎会長も出席され、総勢160人の出席者でした。

#### 「第3回よみうり防災セミナーin・塩原」(4月22日)

講師に日本ボランティア協会の加留部貴行氏を迎え、本人のボランティア体験に基づく講演をしていただきました。参加者は総勢80人でした。

#### 「第4回よみうり防災セミナーin・長尾」(5月20日)

DIGのみのセミナーとしました。お礼状には、「セミナー終了後各自治会長に意見をきくと、博多あん・あんリーダー会各位のやる気満々の気に触れ、今日はお客さん気分ではイカンバイと入り口で感じ、スタートすると熱気むんむんで本当に勉強になりました。」と書かれていました。参加者総数は85人。

#### 「第5回よみうり防災セミナーin・大楠」(6月24日)

数十年前の若久川の氾濫で大きな被害がでたことから、九州大学の橋本准教授に「水害から身を守る」と題して講演頂きました。参加は85人。



第3期 博多あん・あん塾  
(読売新聞西部本社提供)



防災セミナーin 愛宕・受付



防災セミナーin 塩原  
・DIG



防災セミナーin 大楠・DIG

#### 編集後記

当広報誌のタイトルは、幹事会で協議のうえ決定させていただきました。また、「博多あん通信」のロゴは、当会会員の吉垣奈美代さんによるものです。ご協力ありがとうございました。